

聖マリアヘルスケアセンターを過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリアヘルスケアセンターでは、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて承認されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	回復期リハビリテーション病棟における大腿骨近位部骨折患者の歩行自立に対する認知関連行動アセスメント（CBA）の有用性		
② 実施予定期間	研究倫理審査委員会承認後～2024年11月30日		
③ 対象患者	非認知症の後期高齢（年齢75歳以上）の方で、受傷前は自立歩行が可能だった大腿骨近位部骨折術後の患者さんのうち、当院回復期リハビリテーション病棟5階入院時に全荷重を許可され、退院時に移動手段が歩行となった方で、2021年10月から2023年9月の間に退院された患者さん。		
④ 対象期間	2021年10月1日から2023年9月30日		
⑤ 研究機関の名称	聖マリアヘルスケアセンター		
⑥ 対象診療科	リハビリテーション科		
⑦ 研究責任者	氏名	松本小百合	所属 聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 <ul style="list-style-type: none"> 入院時の認知関連行動アセスメント（CBA）：意識、感情、注意、記憶、判断、病識の合計より高次脳機能障害を評価 入院時HDS-R：改訂長谷川式簡易知能評価 退院時機能的自立度評価表（Functional Independence Measure）：日常生活動作の介助量を評価 		
⑨ 研究の概要	非認知症で後期高齢の大腿骨近位部骨折患者さんに、CBAを用いて認知機能評価を行うことで、歩行自立の判断材料となるか検証します。		
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑫ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際、個人の特定につながる情報は、当院で特有の番号に置き換えて（このことを「匿名化」と言います）管理します。学会等で発表する場合も、個人を特定できる情報は使用しません。		
⑬ 知的財産権	聖マリアヘルスケアセンターに属します		
⑭ 研究の資金源	特にありません		
⑮ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません		
⑯ データの2次利用	本研究で得られたデータ等の2次利用により新たな研究を行う場合は、改めて研究計画書を作成し、再度研究倫理審査委員会の審査を受けます。		
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	聖マリアヘルスケアセンター リハビリテーション室 松本小百合 電話 0942-35-5522		